

## 膝関節注射モデル Mk 2 ユーザーガイド

### 膝関節注射モデル Mk 2

型番：170020

この特別な製品は滑液吸引技法のトレーニングに使用されるものです。

#### 改良点

- 簡便に使用するための簡素化された設計
- セルフシーリング付き滑液袋のすばやい交換を可能にする手早く取り外せる皮膚、筋肉、膝蓋骨（脂肪パッド付き）
- 滑液袋は簡単に滑液供給バッグに接続可能
- 大容量の滑液供給バッグはトレーニングセッションを休み無く継続して実施可能（学生、トレーニーが大グループになっても時間節約になります）

#### 習得技術

- 患者に取らせる姿勢と患者の扱い
- 触診方法
- 解剖学上のランドマークの理解
- 膝関節の外側および内側からの滑液吸引

#### 特徴

- 解剖学的に正確かつ触知可能な骨格のランドマーク
- 筋肉層と皮膚層とに区分されており現実感のある構造と針の抵抗を生み出します。
- 内部の解剖学的な構造を表面に書き示すためのノートレースマーカー（後に残らないすぐ消えるインク）付き

#### 構成部品

- 1 170020用皮膚 Mk 2 型番 170021
- 2 滑液（250ml） 型番 170022
- 1 滑液袋 Mk 2 型番 170023
- 1 ノートレースマーカー 型番 130023
- 1 膝モデル用注射セット 型番 130091
- 1 参考図書“関節及び軟組織注射について”  
トレバー・シルバー著（BKS1857755642）
- 1 ベース付き大腿セット
- 1 メタルスタンドと1リッター滑液供給バッグ

#### ラテックスフォーム素材の取り扱いについて

1. フォーム素材は天然素材で出来ています。直射日光を避け、付属のケースに収納して下さい。電話やコンピューターなどの電気製品の周辺はオゾンが発生しやすいため、その近くには置かないでください。
2. 実習前には手を洗ってください。黄色く変色したり、脱色したりする原因となりますので、銅製の硬貨などの金属に触れた直後に製品を取り扱わないでください。
3. 使用後はマイルドな石鹸で製品を洗い、すすいでください。中性洗剤が

有効です。製品を水につけたり流水を表面にかけ流したりしないでください。

4. 製品を口に入れないでください。実習終了後は通常の衛生管理で洗浄を行ってください。

### 膝の組み立て

1. 膝を作業台の上に置いてください。滑液供給バッグ用スタンドの二つの部分をねじ止めで組み立ててください。
2. スタンドのまっすぐな側を膝ベースの穴に挿入して立ててください。スタンドの上部に滑液供給バッグを引っ掛けます。
3. バッグの下部から出ている白いコネクターを膝側のコネクターに取り付けてください。滑液のボトルを滑液供給バッグに全部空けてください。注意：吸引を円滑に行うために二つ目のボトルの中身も袋に空けてください。これにより滑液袋により強い圧力がかかり、袋がより膨らみ、針を入れるのが楽になります。これで膝モデルは使用できます。

### 膝の皮膚と筋肉層の取り外し取り付け

1. 白い滑液送出コネクターを取り外します。滑液供給バッグとスタンドをベースから取り外します。
2. 膝の両端にある黒いノブをゆるめます。膝をベースから取り外します。
3. 膝を裏返しにし、皮膚部のジッパーを開けます。
4. 筋肉層の裏まで開けます。更に内部の骨組織を取り出します。組み立てるときは手順を逆にします。

### 注意

膝をベースに納めるとき、ベースと黒いノブ間の液送出チューブに何も入っていないことを確認してください。もしチューブに滑液が残っていると袋から膝への液のスムーズな流れを妨げます。

膝の両端にあるノブは適度に強く締められていることを確認してください。そうでなければ通常使用中に動いてベースから引き出されてしまうことがあります。

### 滑液袋の交換

1. “膝の皮膚と筋肉層の取り付け取り外し”で述べられた手順に従ってください。保持ストラップが大腿骨の周りに付いています。これが膝蓋骨と脂肪パッドを正常に保持しています。
2. ストラップの両端を引いて保持しているつまみを外します。膝蓋骨の靭帯を前方に引いて、脛骨上にとどめます。
3. 膝を後方に曲げて（通常の解剖学的な屈曲方向）膝関節から滑液袋を外します。袋を骨から取り外してください。
4. 大腿骨に沿って走っている溝から液送出チューブを外してください。古い滑液袋を外して捨ててください。
5. 関節表面に新しい袋をかぶせます。袋の残りの部分は大腿骨の後ろにたらしめます。
6. 大腿骨の溝へ液送出チューブを押し込みます。二つの膝部分の合わさる面を突き合せ膝をまっすぐにします。
7. 並んだ靭帯を膝のどちらかの側の溝に正常な位置に収めます。膝蓋骨の靭帯を再取り付けします。
8. 筋肉層を再び取り付けます。皮膚層も取り付けます。

9. 膝を再びベースに取り付けます。液送出チューブをバッグに取り付けます。これでモデルは使用可能です。

#### トラブルシューティング

コネクターが滑液供給バッグに取り付けが出来ないときはコネクター機構のリセットが必要となります。

1. 写真はコネクターがロックされている状態で、この状態では取り付けられません。
2. メタルクリップを押してロックを解除してやります。コネクターがリセットされピンが飛び出てくると使用可能になります。

#### 他のご提供できるモデル

|             |    |        |
|-------------|----|--------|
| 手・手首関節注射モデル | 型番 | 130031 |
| 肘関節注射モデル    | 型番 | 130080 |
| 肩関節注射モデル    | 型番 | 130010 |